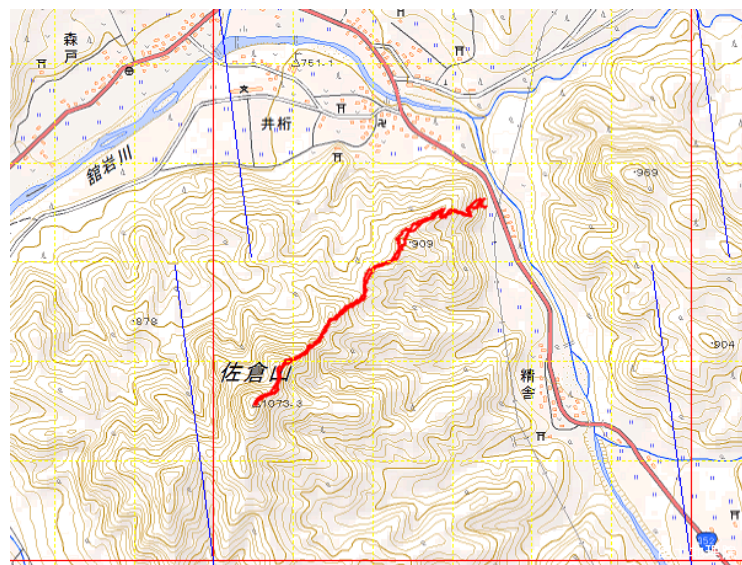


## 佐倉山 (1073.3m)

11 月 26 日 (火) 渡辺敏夫

9 月から 10 月にかけて、紅葉の見ごろに東北の山か会津の山に行こうと思っていたが、なかなか機会がなく行けなかったが、丁度会津方面の天気が良く都合がいたので出かけた。2 日から 3 日程度で佐倉山、大嵐山、大博多山それに唐倉山を登ろうと思い出かけた。前日に舘岩道の駅で前泊して、夜明け前に登山口に着いた。6 時前では暗く歩きにくいと思い、しばらく時間の調整をして少し明るくなりかけたのを見計らって、ヘッドランプをつけて歩き始めた。木々の葉はすっかり落ちて登山道は落ち葉のじゅうたんに覆われている。登山道が急で滑って登りにくい。また、尾根が痩せて岩が出ていて慎重に登る必要がある。標高 1000m 程度の山で往復 2 時間 30 分ですが、結構登りがいい山でした。

コースタイム 登山口 6:07→909m ピーク 6:37→  
山頂 7:33 7:47→909m ピーク 8:31→登山口 8:50





# 大嵐山（1635.5m）湯ノ倉山（1343m）

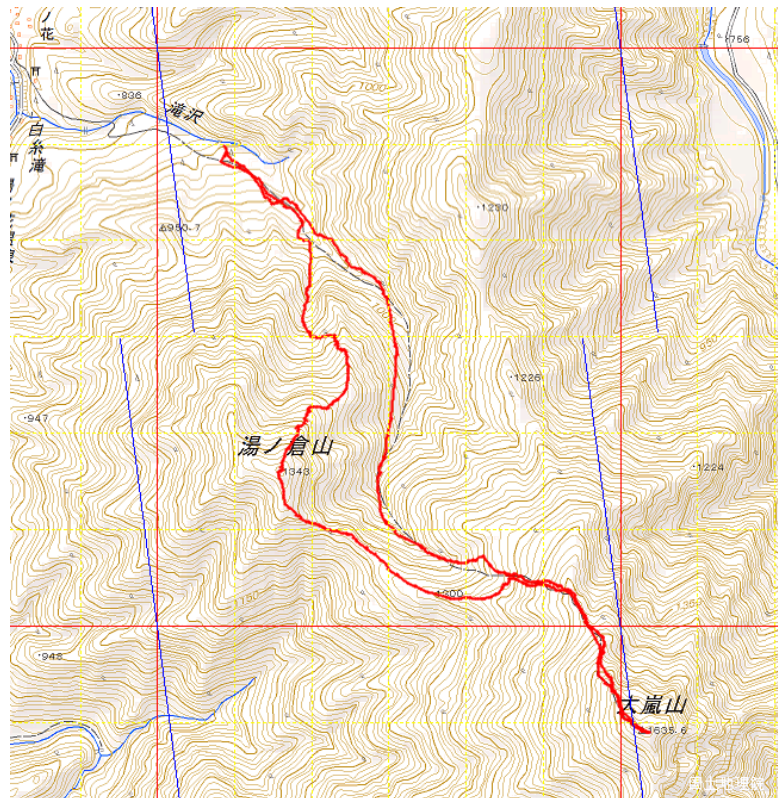
2019年11月26日



佐倉山の南西に位置するのが大嵐山です。湯ノ花温泉の南東方向に位置していて、田代、帝釈山塊に行くときよく見える山で、登りたいと思っていた山でした。佐倉山からはすぐに大嵐山の登山口に到着しました。10時過ぎると雲が切れて晴れ間が出てきました。前日までの冷え込みで、木々には霧氷がついていました。日が上がるとその霧氷が光に照らされてひかり、青空に映えてと

てもきれいです。谷筋をたどり山頂へと至ります。山頂からは二岐山、磐梯山、猫魔ヶ岳、高曽根山周辺の山並みが青空に浮かびきれいに見えます。帰りは途中から尾根筋をたどり湯ノ倉山経由で下山しました。

コースタイム 登山口 9:32→山頂 12:06 12:51→分岐 13:27→湯ノ倉山 14:08→登山口 15:00





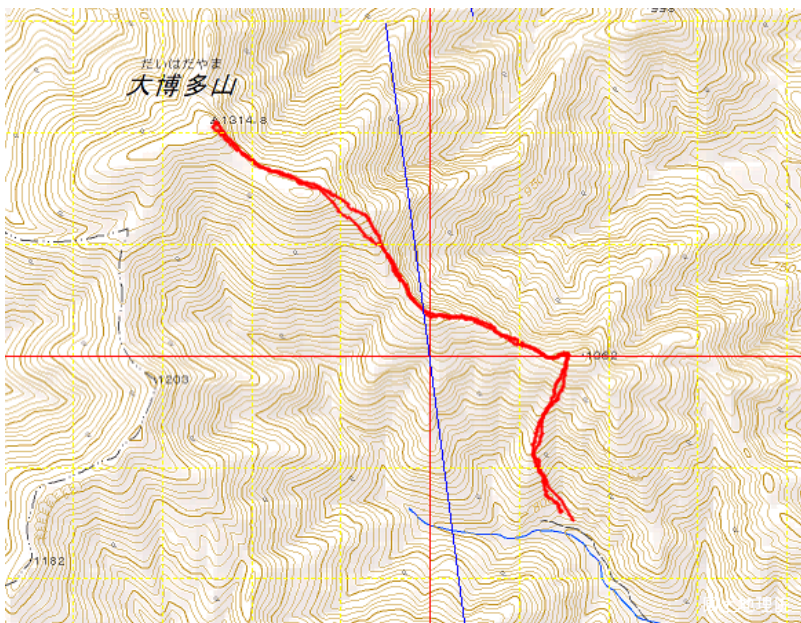
# 大博多山（1314.8m）

2019 年 11 月 27 日

大博多山へは館岩から桧枝岐へ向かう国道 401 号の伊南から、青柳林道に入り林道終点が登山口になっている。会津百名山のガイドブックでは踏み跡が不鮮明と書いてあるが、近年山開きが開かれて登山道ははっきりしていて、マーキングもあり迷うことはない。車の終点がもう少し手前だと予想していたが、かなり奥までは入れてかなりの時間の節約になる。前日に登山口で車中泊して、夜明けともに歩き始めた。



この時期は落ち葉が登山道に降り積もって滑りやすいので、慎重に歩く必要がある。下山時は特に注意が必要だ。天候は昨日ほどよくはないが、薄日が雲の切れ間から差し込み、ますますの登山日和だ。尾根に上がり尾根をたどって大博多山の山頂にまもなく到着した。



天候が昨日に比べてよくないので、見晴らしが昨日よりもあまりよくない。下山して次の山である唐倉山に向かった。

コースタイム 登山口 6:26→尾根  
7:16→山頂 8:31 8:41→尾根  
9:13→登山口 9:49



# 唐倉山（1175.8m）

2019年11月27日

唐倉山は伊南川を隔てて大博多山とは反対方向にある山で、すぐに登山口に到着した。大博多山には大分時間がかかると予想して、一日で二つの山は無理かなと思っていた。しかし、大博多山ではかなり奥の登山口まで車で入ることができ、予想以上に早く下山できたので唐倉山にも今日中に登山できそうである。唐倉山の登山口に左から入り、右回りの尾根周回コースが紹介されているので、それに従って、左の登山ルートへと進んだ。ふもとから眺めると、山頂は右奥にあり山頂の左側が岩山となっている。左のルートは山腹を詰めて尾根に上がり、尾根をたどって山頂に至る。尾根に上がるまでのルートは斜面が急で、斜面での足のステップがないので非常に登りにくい。おまけに斜面は粘土質の土でできているので滑りやすい。尾根に近づくと岩山で岩の間を縫うように進む。ロープ、クサリ、金属のステップ等が設けられているが慎重に登る。山頂からの下りは、急であるが登りに比べれば歩きやすい。ほどなく登山口に到着した。登山口には休憩を入れて3時間程度で到着した。

二日間で4山を登ることができた。雪が降り出す前の初冬の南会津の山々を堪能できた。この時期、雪が積もるのは間もなくと思われ、雪が降れば登るのは困難となるため登山者が少ない。結局4つの山を登ったが、一人の登山者にも合うことがなかった。この時期は静かな山行を楽しめるようである。

・コースタイム 登山口 10:45→山頂 12:17  
12:59→登山口 13:45

文責 渡辺敏夫

